

「尾道市立高等女学校 第四回秋季運動会絵葉書 大正四年十月」 其一 ロッチェスターショツテス 二年甲乙



絵葉書の包紙



絵葉書

▶大正時代の学校風景を伝える絵葉書：「尾道市立高等女学校 第四回秋季運動会」

この絵葉書は、大正4年（1915）10月に開催された「尾道市立高等女学校 第四回秋季運動会」を記念して、全8枚組で製作されました。当日の運動会の競技や演目を現代に伝えています。

▶尾道市立高等女学校の沿革

尾道市立高等女学校は、明治42年（1909）に「尾道市立女子技芸学校」として開校しました。最初の卒業生は46名で、明治45年（1912）に学び舎を築立っています。

その後、大正7年（1918）には県へ移管され、「広島県立尾道高等女学校」となります。

第二次世界大戦後の昭和23年（1948）には「広島県尾道東高等学校」と改称し、翌年からは男女共学となりました。

昭和43年（1968）に現在の「広島県立尾道東高等学校」となり、現在に至っています。

この絵葉書が発行された大正4年（1915）は、開校から6年目に当たります。

▶絵葉書が伝える運動会の情景：ロッチェスターショツテス

この絵葉書に写し出されているのは、運動会の演目の一つである「ロッチェスターショツテス」の場面です。運動会の参加者の前で生徒が複数人で組み、踊りを披露している様子が撮影されています。